

みどりかがやく

確かな力を育んだ1学期

本校には正方形の花壇が8つあります。そこに今、ポーチュラカが色とりどりの花を咲かせています。赤、白、黄色、ピンク、オレンジ、白と赤のしぼり、黄色と赤のしぼり、おおむね七色の花を咲かせています。

ポーチュラカは野草のスベリヒユに葉が似ていることから、ハナスベリヒユとも呼ばれています。高階地区や福原地区ではスベリヒユのことを古くからゴンベと呼んでおり、年配の方にはスベリヒユよりもゴンベの方が親しみやすい呼び名になっているようです。

1年生にとって、はじめての定期テストが7月16日（木）17日（金）に行われました。今年は中間テストを行わなかったため、期末テストが初めての定期テストになりました。テストは1回になりましたが、成績はこれまでの学習活動を総合して決めますので、テストの点数＝成績ではありません。また、1年生は7月21日（火）から部活動の朝練習も始まり、やっと中学生らしい生活が始まりました。まだ、慣れないながらも一生懸命に練習に取り組む姿はこれからこの高階西中学校を支えるたくましさを感じます。どの部も基本的な内容から学ぶため、すぐに実践練習とはならない場合があるかもしれませんが、それでも、たいへんなことにも真剣に取り組む姿に中学生としての成長を感じます。

2年生は部活動の中心となりました。まだ、リーダーを決めていない部もありますが、責任感をもって、1年生に熱心に指導する姿に頼もしさを感じます。あいさつを自ら手本となっていく姿、優しく1年生に声をかける姿に、先輩としての自覚をもっていることがうかがえます。まだ、うまくいかなかったり、これから課題を見つけたりすることもあると思いますが、今の気持ちを忘れずに、部活動そして学校をリードしてほしいと思います。

3年生は部活動を引退し、自らの進路実現を考える時期になりました。今年度の高等学校の学校説明会は、人数制限を行ったり、ウェブによる事前申し込みが必要になったりしている学校もあり、これまでの説明会と異なる形で実施されることもあります。進路を選択する上で必要な情報はこれから集めるにしても、今までの中学校生活で培った、希望をもって自主的に未来を切り拓く力を生かして、自分自身との対話を行い、保護者の方と相談しながら、自己決定をしてほしいと思います。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休校の期間が長くありましたが、それぞれの生徒が、自分自身を見つめる機会になり、学校再開とともに大きく成長した1学期であったと思います。ポーチュラカの花の色もそれぞれです。「西中で 希望の花を 咲かせよう」という生徒会スローガンのように、一人一人の生徒が、1学期の自分の成長を自覚し、自らの花を大きく咲かせてほしいと願っています。



色とりどりのポーチュラカ